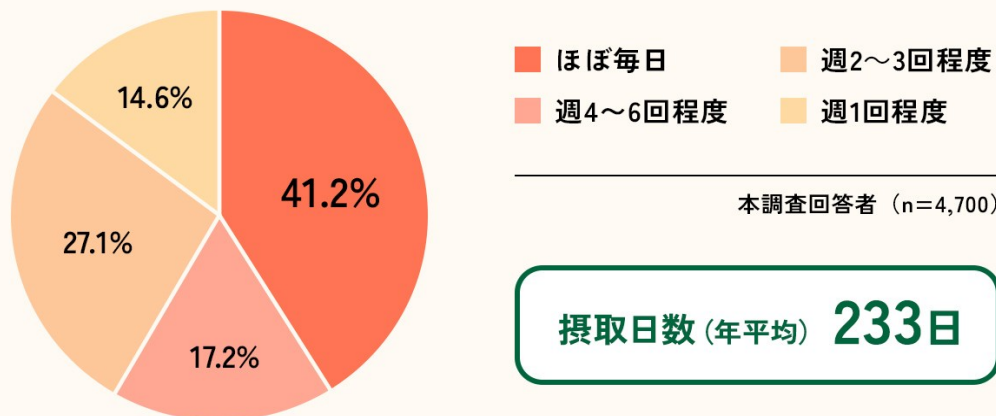


<03 月 12 日は“マルサン豆乳の日”> 豆乳ユーザーは 1 年の 1/3 以上も豆乳を飲む!? 日本で一番豆乳好きなのは意外な〇〇県!? 全国 36,000 人の豆乳愛飲者到大調査!

マルサンアイ株式会社(本社:愛知県岡崎市、代表取締役社長:稲垣 宏之)は、3 月 12 日の“マルサン豆乳の日”(「03(マルサン)」 「12(トウニユウ)」)に先立ち、47 都道府県の豆乳愛飲者※1 36,000 人を対象にした大規模アンケートを実施し、公式ホームページ内WEBマガジン マルサンジャーナル「Soyana」(<https://www.marusanai.co.jp/soyana/>)にて調査結果を公開いたしました。

近年の健康志向の高まりや利用シーンの広がりによって、国内の 2025 年の豆乳生産量は 44 万kℓに到達(前年比 108.2%)、過去最高記録を更新しました。この 10 年では約 10 万kℓ拡大しており※2、今や豆乳は日本人にとって身近な存在となっています。そこで今回は、47 都道府県における豆乳愛飲者を対象にした「日本列島豆乳県民調査」を実施し、日本人と豆乳の関係性について探りました。

豆乳の摂取頻度(全国)



無調整豆乳を飲んでいる (%)

1位 大分県 76.0

1年あたりの摂取日数(日)

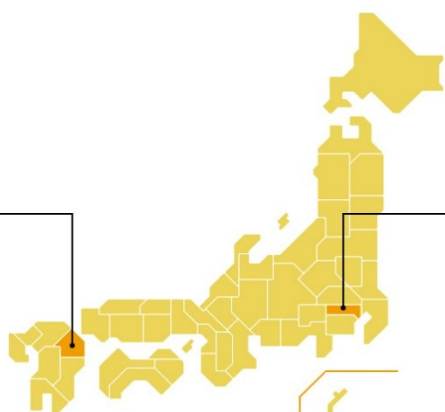
1位 大分県 262

調製豆乳を飲んでいる (%)

1位 東京都 56.0

豆乳飲料を飲んでいる (%)

1位 東京都 38.0



今回の調査では、豆乳愛飲者の約 6 割が週 4 回以上豆乳を摂取していると回答しており、豆乳が習慣化している様子が伺えます。1 年あたりの摂取日数の平均は 233 日で、最も多かったのは大分県の 262 日でした。豆乳の種類別で見ても大分県は、大豆と水だけでできており、豆乳らしさを一番感じられる無調整豆乳を飲んでいる方が 76%で、こちらも全国で最も比率が高くなっており、日本一の豆乳大好き県と言えるでしょう。そのほか、「豆乳の飲み方」に焦点を当てた地域ごとの特色など、詳しい調査結果につきましては、マルサンジャーナル「Soyana」にてご確認ください。

50 年以上に渡り豆乳を作り続けてきたマルサンアイは、これからも「健康で明るい生活へのお手伝い」の企業理念のもと、おいしい豆乳の提供や、豆乳の楽しみ方が広がる発信や提案していくことで、“豆乳LOVER”を増やす活動を積極的に展開していきます。

※1 本調査における「豆乳愛飲者」とは、週 1 回以上豆乳を飲んでいる方を指します。

※2 日本豆乳協会 豆乳等生産量等調査より

【日本列島豆乳県民調査①(<https://www.marusanai.co.jp/soyana/lifestyle/0003.html>) 主なトピックス】

- ・豆乳好きは 1 年にどれくらい飲んでいる？ ほぼ毎日取り入れている県はどこ？
- ・調製豆乳を飲んでいる県 1 位はどこ？なぜ調製豆乳？
- ・無調整豆乳を飲んでいる県 1 位はどこ？なぜ無調整豆乳？
- ・豆乳飲料を飲んでいる県 1 位はどこ？なぜ豆乳飲料？
- ・豆乳愛飲者が抱く“豆乳のイメージ”とは？

【日本列島豆乳県民調査②(<https://www.marusanai.co.jp/soyana/lifestyle/0004.html>) 主なトピックス】

- ・アイス・ホット・常温？豆乳好きな県民はどんな飲み方をしているの？
- ・ソイラテにして飲むのが好きな県 1 位は？
- ・料理に豆乳を 1 番愛用する県はどこ？なぜ料理に使うの？
- ・そのまま豆乳を飲むのが 1 番好きな県は？
- ・豆乳愛飲県民の豆乳を飲むタイミングはいつ？

<調査概要>

調 査 日 程 : 2025 年 7 月 24 日～7 月 31 日

調 査 対 象 : 全国 / 男女 / 20 歳～69 歳

有効回答者数: 36,185 名(本調査 4,700 サンプル: 47 都道府県 各 100 サンプル)

※本調査回答者=週 1 回以上豆乳を摂取している人

調 査 方 法 : インターネットリサーチ

調 査 機 関 : 株式会社オノフ

■マルサンアイ株式会社について

本社所在地: 〒444-2193 愛知県岡崎市仁木町字荒下 1 番地

代 表 者 : 代表取締役社長 稲垣 宏之

資 本 金 : 8 億 65 百万円

設 立 : 1952 年 3 月

U R L : <https://www.marusanai.co.jp/>

事 業 内 容 : 豆乳を主とする植物性ミルク、および植物由来原料を使用したプラントベースフード等の製造販売。

2025 年 9 月期の売上は、328 億円。

当社では豆乳を中心とした様々な製品の製造販売を通じて、企業理念である「健康で明るい生活へのお手伝い」の実現に向け、今後もより多くの方に植物性素材の可能性や魅力を感じていただけるよう、新商品開発や生活者との接点強化を図っていきます。